

《10月30日(木)～11月2日(日)》

鳳祭イベント情報

10月30日(木)

◇開催式 13:00～。4号館前特設ステージで。
 ◇オープニングセレモニー 連合県人会の有志による仮装パレードと、全学応援団とプラスバンドによるパフォーマンス。
 ◇前夜祭「何が出るかな!? ガラガラポンッ♪」 15:00～。4号館前特設ステージ(雨天時10301号教室)。「東京03」のお笑いライブと学生参加ゲーム。

10月31日(金)

◇ゲーム板企画「玉ブラ～ザ」 翌日も開催。13:00～17:00。本部テント裏(雨天時215号教室)。実行委員製作のゲーム板を攻略し、豪華景品をゲット。
 ◇シールラリー「輝緑～めぐるきらめき～」 13:00～17:00。キャンパス内で6枚のシールを集め、豪華景品を手に入れよう。雨天時215号教室。

11月1日(土)

◇講演「Step by Step～一歩ずつ～」 14:00開場、15:00開演。10301号教室。ドラマ、バラエティーと幅広く活躍するベッキーさんが登場。司会の「ど～よ」とともに、鳳祭を盛り上げる。
 ※チケットは前売券(500円)のみ。生田正門前で販売(売切れ次第終了)。
 ◇バンド企画「凜」 翌日も開催。11:00～17:20(2日は16時20分まで)。3号館横特設ステージ(雨天時は351号教室)。学内外のバンド9組とゲストバンド2組によるステージ。

11月2日(日)

◇ミス専修コンテスト「Venus～輝かしき乙女たち～」 10:00開場、11:00開演。10301号教室。4人の候補者が栄冠めざしてゲームに挑戦。会場投票とweb投票で「第8代ミス専修」が決定する。「キャン×キャン」によるお笑いライブも。出演者の情報・投票は専用サイト(<http://misssenshu2008.campuscity.jp/>)で。

- 大型企画** 各団体が主催する恒例企画。いずれも10月31日～11月2日。
- 【育友会】喫茶「お休み処・育友」(421号教室)
 - 【放送研究会】AREA STATION(3号館前広場)
 - 【連合県人会】チロリン村(正門前駐車場) お化け屋敷(436号教室)
 - 【サッカー愛好会】フットサル大会(北グラウンド)
 - 【卓球愛好会】ピンポン大会(総合体育館卓球場B)
 - 【国際交流会 SHIP】「世界を食べよう」(生田会館前)



※駐車場がありませんので自家用車での来場はご遠慮ください。向ヶ丘遊園駅北口から専大行きの小田急バスをご利用ください。詳しい情報、問い合わせは

◇ホームページ http://www.ohtori_senshu.com
 ◇Eメール ohtori_festival@hotmail.com
 ◇TEL&FAX 044-900-7830 鳳祭実行委員会

創立129年

鳳祭

生田キャンパスで開催

創立129年鳳祭が10月30日(木)から11月2日(日)まで、「輝緑(きりよく)」をテーマにした新たな芽ばえをテーマに生田キャンパスで開催される。

今年は終了時間が18時まで(最終日は16時)延長され、新たな試みとして日本女子大、明治大と連携した宣伝活動をスタートさせた。鈴木良輔実行委員長(経営3)は「市民の皆さんには大いに楽しんでいただきたいと思います。大学生は最低限のルールを守った上で、大いに盛り上げてほしい」と学生の節度ある行動を呼びかけている。

テーマは 輝緑(きりよく)～新たな芽ばえ～



▶ 生田会館前に勢ぞろいした実行委員100人

「今と昔のオリンピック」

感もまるで違う。マラソンなど見る

夏の暑さが過ぎて秋場が多く、今回のように涼しくなってきた。今夏のオリンピックは、北京オリンピックを見つけた。競技は勿論、開会式と閉会式も、毀譽褒貶多々あれどスペクタクル性抜群でなかなか興味深く面白かった。事のついでに1964年の東京オリンピックの記録映画のDVDを見てみることにした。

東京オリンピックは、ちょうど今ごろの秋に開催(1964年10月10日～24日)であり、画面を見ると涼しげな空気や夕方の日差しの中で行われている。その雰囲気もスピード感も、今と昔のオリンピックは、感もまるで違う。マラソンなど見る

夏の暑さが過ぎて秋場が多く、今回のように涼しくなってきた。今夏のオリンピックは、北京オリンピックを見つけた。競技は勿論、開会式と閉会式も、毀譽褒貶多々あれどスペクタクル性抜群でなかなか興味深く面白かった。事のついでに1964年の東京オリンピックの記録映画のDVDを見てみることにした。

東京オリンピックは、ちょうど今ごろの秋に開催(1964年10月10日～24日)であり、画面を見ると涼しげな空気や夕方の日差しの中で行われている。その雰囲気もスピード感も、今と昔のオリンピックは、感もまるで違う。マラソンなど見る

緑地帯



感もまるで違う。マラソンなど見る

キャンパス情報

【公開シンポジウム】「オリンピックがもたらすレガシー(遺産)」(社会体育研究所主催)

▽日時 11月12日(水) 13時05分～16時20分▽場所 生田10301号教室▽内容 講演「オリンピック招致がもたらすレガシー」河野一郎氏(東京オリンピック招致委員会事務総長) / シンポジウム「オリンピックが大学スポーツにもたらすもの」植田辰哉氏(バレーボール男子日本代表監督)、宮下純一氏(北京五輪競泳メドレーリレー銅メダリスト)ほか

【国際シンポジウム】「古代東アジア世界と日本・新羅の留学生」(東アジア世界史研究センター主催)

▽日時 11月22日(土) 10時～18時▽場所 神田731号教室▽内容 各国から中国に派遣された留学生の実態を中国・台湾・韓国・日本の研究者が報告と討論を行う。定員100人。詳細はホームページで。 ☎044(91)1347 社会知性開発研究センター

【国際交流特別講演会】第137回国際交流特別講演会「やさしい英語による経済学講座」5回シリーズが10月4日から生田キャンパスで始まる。

New Ground 28 新しい見方

奈良 仁之 (文3・ジャーナリズム研究会)

「終わりと始まり」

長かった夏休みも終わり、後期の授業が始まっては数週間。やっと夏休みボケも治ってきた今日このごろだが、学校とは関係なく、この時期に終わり、始まるものがある。それは番組、要するに10月はテレビ・ラジオの番組改編期なのである。

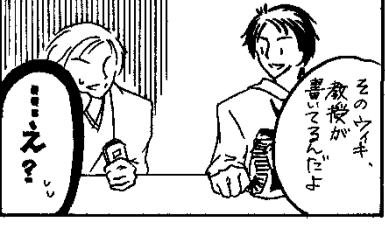
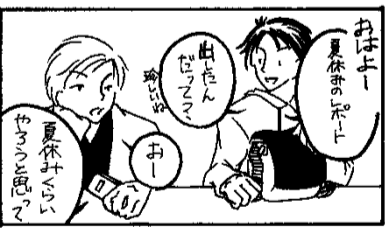
私は、この時期になると妙な喪失感を感じるが多々ある。もちろん、原因はもはや生活の一部となった番組との別れであり、その喪失感番組の放送期間に比例する。もともと終わりがあって成り立つドラマや、改編のペースが早い深夜の番組ならばあまり感じないのだが、2、3年続いた番組が終わるとなると話は違う。放送時間になるとチャンネルを合わせて番組を見るという当たり前に続いていた習慣が、一気にポツカリと失われてしまう。何か大切なものが抜け落ちた感じがしてしまい、大きな不安を感じるのだ。始まったものにいつか終わりがやってくるということは当たり前だ。それ



が時間というものである。「おもいきりテレビ」のみのもんだって「笑っていいとも」のタモリだっていつかはなくなる。彼らだって人であり、私たちよりずっと長い年を取っているのだもの。時間は誰にでも平等であり、止まるということは決してない。しかし、それが実際に訪れた時、きっと私はとてつもない喪失感に襲われる。そこには言葉では表せない、想像もできないリアルさがあるのだろう。

まさに今期、私が2、3年間観しんできた番組が終わりを告げた。個人的にとっても好きな番組だったせいもあり、非常に大きな喪失感にさいなまれている最中である。「こんなに長く続いた番組なのに、もうこれっきりで終わっちゃうのか……」そんな身近で些細なことなのだが、それゆえに非常にリアルに、私は時間の流れを感じてしまっているのだ。

漫画研究同好会



ホームページモニター募集

専修大学ホームページを充実させるため皆様のご意見をお聞かせください(内容=年に数回のアンケートにご協力いただくものです)。

- ▽募集人数=本学学生・大学院生(50人)、卒業生(30人)、在学生のご父母(20人)
- ▽募集期間=10/27(月)～11/14(金)
- ▽応募方法=ホームページ (<http://www.senshu-u.ac.jp>) の応募要領をご覧ください。
- ▽お問い合わせ=ホームページ運営委員会事務局(広報課) Eメール (hpcomm@acc.senshu-u.ac.jp)